



Pandora FMS 6.0 SP1

リリースノート

新機能

- API および CLI の新機能: 統合モジュール作成、計画停止管理、ネットワーク・データサーバ・プラグインモジュールの警告・障害閾値の反転管理
- レポートエンジンに CSV レポートのエクスポートを追加しました。
- アラートテンプレートに新たなモジュールを追加するために、エージェントの XML ファイルに新たな 'alert_template' タグを追加しました。
- 動的レポートの一覧に月次 SLA を追加しました。
- CLI に `get_agents` を追加しました。
- 計画停止を操作するいくつかの CLI および API を追加しました。
- 統合モジュールを CLI および API で作成できるようにしました。
- セカンダリサーバオプションをサテライトサーバに追加しました。

以前のバージョンからの変更点

- NAT を使っている場合の SNMP 自動検出スクリプトを改善しました。
- インクルードを使っている場合のエージェント設定ファイルが重複している場合のサテライトサーバの動作を変更しました。
- サテライトサーバの設定トークン `server_threshold` を `keepalive` に変更しました。
- グループ表示、ツリー表示、概要表示におけるソートおよび階層表示処理を書き直しました。
- メニュー内の再ソートされた要素の動作を以前のバージョンと同じようにしました(パーミッション関連)。
- グループ表示におけるモジュールのパーセント表示に小数点以下を追加しました。
- グローバル検索バーにおけるアラート検索を削除しました(大幅なパフォーマンス改善)。
- Enterprise ネットワークマップで使えなくなっていた "関係性" 機能を追加しました。
- Windows エージェントで、デフォルトではインベントリを収集しないようにしました。



不具合修正

- グループ表示で、エージェントとモジュールの数が正しく表示されない問題を修正しました。
- ダッシュボードのユーザビリティを改善しました。
- メタコンソールのグループ表示で階層構造が正しく表示されない問題を修正しました。
- メタコンソールウィザードでのエージェント作成において、キャッシュの同期に関する問題を修正しました。
- メタコンソールでの期限切れパスワードの変更を修正しました。
- ビジュアルコンソールで背景を変更するときにエラーが発生する問題を修正しました。
- ポリシーメニューにおける、エージェント一覧を修正しました。
- レポートエンジンにおいていくつかの改善と修正をしました。
- “エージェント表示”権限で、ポリシーを作成できる問題を修正しました。
- 計画停止に関する API および CLI を修正しました。
- ログファイルに大量に出力される PHP の警告を修正しました。
- メタコンソールとノードの間のタグ同期に関する問題を修正しました。
- Oracle データベース利用時の一括操作処理を修正しました。
- 連続抑制回数が有効になっている場合、不明状態から復旧すると不正なアラートが発報される問題を修正しました。
- メタコンソールで LDAP 認証で新規ユーザがログインした場合にエラーになる問題を修正しました。
- Oracle データベース利用時のインベントリの問題を修正しました。
- フォームにおける固定値を動的な値に変更しました。
- Cron ジョブ拡張が表示されない問題を修正しました。
- Enterprise ACL 利用時のメニューを修正しました。
- ビジュアルコンソールの公開 URL の問題を修正しました。
- ゲージグラフの最小および最大の描画における問題を修正しました。
- グループで ACL の伝播が有効化されていると、グループのカウントが正しくない問題を修正しました。
- タイプが“グループ”の場合の Enterprise ネットワークマップの作成を修正しました。
- ダッシュボードのリサイズの問題を修正しました。
- メタコンソールにおける可用性タイプのアイテムを含むレポートテンプレートを修正しました。
- レポートエンジンでいくつかの修正をしました。
- Oracle データベース利用時のインベントリおよび SLA ウィザード関連の問題を修正しました。
- インストーラが既存のデータベースを選択した場合に動作するようにしました ([TheMysteriousX](#) に感謝します)。
- ダッシュボードにおける単一グラフウィジェットを修正しました。
- インストール時に PHP フィルタ拡張をチェックするようにしました。
- アップデートマネージャにオフラインパッケージをアップロードするときのパッケージバージョン設定を修正しました。



アップデート方法

既存のシステムのバックアップ

アップデートの前に、既存の Pandora FMS システムをバックアップします。

ファイルやデータをアップデート前の状態に戻せるように、外部バックアップ、ファイルシステムのスナップショットなどを利用します。

Pandora FMS のバックアップに関する詳細は、オンラインドキュメントの [バックアップ手順](#) を参照してください。

アップデート手順

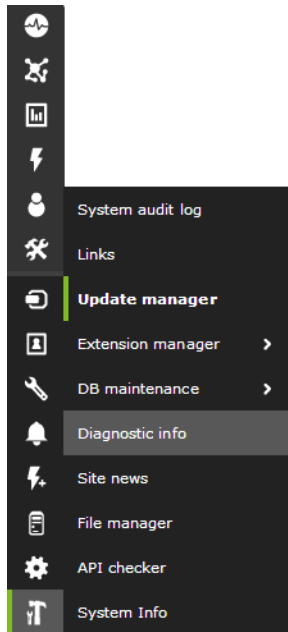
ここでは、**Pandora FMS アプライアンス 6.0** を **6.0 SP1** へアップデートする手順を説明します。それには、Pandora FMS サーバを停止する必要があります。2 分ほどです。

注意: アップデートには管理者権限のユーザアカウントが必要です。アップデートの前に、Pandora FMS サーバとコンソールの接続が確保できていることを確認してください。

1. RPM 形式の "[Pandora FMS サーバ](#)" をダウンロードし、Pandora FMS サーバへ転送します。
2. RPM 形式の "[Pandora FMS エージェント](#)" をダウンロードし、Pandora FMS サーバへ転送します。
3. **Enterprise** 版を利用の場合は、サポートサイトからご利用のアーキテクチャに合った "**Pandora FMS Enterprise server**" の **TAR.GZ** ファイルをダウンロードし、Pandora FMS サーバへ転送します。
4. **Enterprise** 版を利用の場合は、サポートサイトから "**OUM 602**" をダウンロードし手元の PC に保存します(サーバへ転送する必要はありません)。
5. Pandora FMS サーバを停止します。 `:/etc/init.d/pandora_server stop`
6. ファイルを置いたフォルダで以下を実行します。:
 - a. `cp -p /etc/pandora/pandora_server.conf /etc/pandora/pandora_server.conf.bkp`
 - b. `rpm -U --force pandorafms_server-6.0SP1-1.noarch.rpm`
 - c. `rpm -U --force pandorafms_agent_unix-6.0SP1-1.noarch.rpm`
7. **Enterprise** 版を利用の場合:
 - a. `tar -xvf pandorafms_server_enterprise_6.0SP1_<architecture>.tar.gz`
 - b. `cd pandora_server`
 - c. `./pandora_server_installer --install`
 - d. `mv -f /etc/pandora/pandora_server.conf.bkp /etc/pandora/pandora_server.conf`



8. Pandora FMS コンソールで、左側のメニューの拡張(Extensions) -> アップデートマネージャ(Update Manager) へ行きます。:



9. 右上のオフラインアップデートマネージャボタンをクリックします。
10. “ブラウズしてください(Browse it)” をクリックし、ダウンロードしておいた “OUM 602” を選択します。アップロードが完了したら、“package_602.oum” をクリックし、インストールが完了するのを待ちます。完了するとフッターに表示されるバージョンが 6.0SP1 に変わります。
11. Pandora FMS サーバを起動します。 `:/etc/init.d/pandora_server start`
12. エージェントを再起動します。 `:/etc/init.d/pandora_agent_daemon restart`

日本国内向けのお問い合わせ先:



株式会社アールワークス

〒170-6016 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 16F



03-5911-2606 (平日 10:00~18:00)



<http://ms.rworks.jp>

rw-sales@rworks.jp